

市政に関する一般質問

今定例会では、25名の議員が一般質問を行いました。

まちづくりや暮らしに関する制度など、市の行政・財政全般にわたって、事業の現在の状況、今後の方針等について質問をし、必要に応じて市に對し意見や施策の提案をします。
質問をした議員が、その質問の中から一問を選び、掲載しています。



会派名 議員氏名
一般質問の表題
質問の番順

問 (質問の要約)

答 答弁者

答 (答弁の要約)

問 通告事項の要約



自由民主党 村山 博紀 1
脱炭素社会実現に向けて

問 防災対策強化に加え異常気象の根本原因である温室効果ガス削減のため、ごみ問題改善を含め、脱炭素社会実現に向けた環境行政に係る見解を問う。

答 市長 近年、異常気象による集中豪雨や猛暑による熱中症など、さまざまな形で地球温暖化が要因と考えられる現象が身近に現れており、地球温暖化対策は待ったなしの

状況にあると感じている。本市も川越市地球温暖化対策実行計画を策定しており、温室効果ガス排出を実質ゼロにするという国の施策を踏まえながら、脱炭素社会の推進に向けて努力していく。また、恵み豊かな地球環境を将来世代に引き継げるよう、取り組んでいく。
問 環境行政の現状と取組
問 コロナ影響と教育現場



自由民主党 牛窪 喜史 2
コロナ禍でも活力ある生活

問 今後、コロナ禍でも健康で活力ある市民生活を営むために、市としてはどのように考えるか。

答 保健医療部長 本市では、令和2年3月に策定した健康かわごえ推進プラン（第2次）に基づき、市民が健康で充実した毎日が送れるよう、健康づくり、食育、歯科口腔保健に取り組んでいる。コロナ禍においては、広報

川越や市ホームページの活用等、健康づくりに関する情報提供、啓発に力を入れていく。今後も、プランのローガンである「びんびんきらり 健康寿命日本一」を目指し、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、地域の関係団体等と連携し、各種施策を進めていく。
問 川越運動公園
問 健康で活力がある生活



自由民主党 中野 敏浩 3
就業者の増加に対する施策

問 労働力人口のうち就業者の増加につながる氷河期世代への対策やコロナ禍での就職支援、高齢者の就職支援等の具体的な施策の実施について伺う。

答 産業観光部長 国が開設しているかわごえ若者サポートステーションの運営受託者に、若年未就労者の保護者向け支援事業を委託し、国の事業との連携を図っている。ま

た、埼玉県との共催により、就職氷河期世代向けの正社員になろうプロジェクトを実施した。コロナ禍における就職支援、高齢者に特化した支援は行っていないが、川越しごと支援センターにおいて、職業相談、職業紹介の他、各種セミナーを実施し、その充実に努めている。
問 人口動向と行政運営



自由民主党 須賀 昭夫 4
本市スポーツの将来的展望

問 オリンピック等の国際大会で活躍が期待されるジュニア選手の育成を含め、市全体のスポーツ振興の在り方について市長の考えを伺いたい。

答 市長 本市では、ジュニア選手がトップアスリートからの指導を受ける機会が少ない。市としては、オリンピックを契機に、ジュニア選手へのオリンピックレガシーとし

ての事業を学校や企業、地域と連携しながら検討していく。スポーツ振興の在り方については、多くのスポーツを親しむ機会提供のため、スポーツ教室の充実および総合型地域スポーツクラブの拡充を図り、市民の健康保持等に協力できるようなスポーツによる健康づくりを推進していく。
問 スポーツ振興と育成



無所属 真美子 5
行政にLINEの導入を

問 情報収集や行政手続き等は主にスマホへ移行しているが、今後の情報化施策に無料公式アカウント開設を含むLINEの導入について見解を伺う。

答 総務部長 IT基本法の改正やデジタル庁の創設を契機に、今後、行政のデジタル化はますます進展していくものと考えられ、本市においても、事務や市民サービスにお

けるデジタル化をさらに推進していく必要がある。今後の本市の情報化施策を立案するため、民間が提供している行政向けの情報サービスなどの情報収集を行っている。LINEの導入については、今後、市の情報化施策を進めていく中で、引き続き検討を進める。
問 行政のLINE導入
問 コロナ禍での選挙